町では、平成30年に今後5年間の公営住宅やあいあい荘などの施設も含めた住宅施策に関する計画や見直しをする時期となりますので、いただいた意見なども参考に計画の見直しを進めていきます。

平成 11 年に建設された
高齢者共同生活施設「あいあい荘」

『100万枚のレコードの活用について』
質問　今後、レ・コード館は行政部局で進めていくという話しもありますが、実際にはどの部局を指すのか。
レ・コード館が開館20周年を迎え、議会や広報紙などで文化施設としての活用について話しがありましたが、レコードの活用について具体的な話しがありませんでした。
今後100万枚のレコードが財産になるのか、それとも、ゴミになってしまうか、大事な分岐点だと思いますがどのように考えていますか?

回答　レ・コード館についてのご意見などは、これまで同様に社会教育課で集約し、必要に応じて町長部局と調整を図ることとします。

レ・コード館が建てられたことにより、町民の文化活動に触れる機会や活動の場所は劇的に変化しました。

その中で、それを核とする意味でレコードを集めてきましたが、これは、消えつつあるレコードを、昔の思い出を集める文化遺産として、また、新冠町の財産として大切に保管するというもので、今後も、レコードを見て、聞いてもらうことを中心とした活用を図っていきたいと思います。

レ・コード館は、まちのシンボルであり、まちづくりの象徴としての位置づけもありますので、20周年を機に、町長部局の企画課と話し合いをしながら、今後のレコードの活用、館の運営方法について協議検討を進めていきます。

データ登録を終えたレコードが
保管されているレ・コードバンク

レ・コード館
（北星町・東町・夕日ヶ丘・レ・コードの森地区）
『給食費の無償化について』
意見　毎月の学校の給食費はいくらなのでしょうか。
昔は、子どもに「お弁当を作る」のが親の役割で、それが給食に変わったことで「給食費を払う」ことが親の責任になりました。
今度は、その給食費が無償化されるとのことで、それは親の責任を放棄させていると感じますがいかがですか?

回答　給食費は、各学校で異なりますが、月4000円前後です。

保護者の責任として給食費を払うことは原則であると思いますが、納入していただけない実態があり、家庭教育という意識を高めるためにも、粘り強く家庭に声掛けをしている状況です。

また、現実として、一生懸命頑張っても、そのことが負担になる家庭がある中で、子どもに与える影響も考慮し、子どもが健やかに育っていけるようにと方針を決めてきたところです。

朝日農村環境改善センター（朝日・高江地区）
『定住人口の確保と農地指定について』
意見　移住定住の関係で、以前、朝日地区周辺に住宅を建てたいので土地を探して欲しいという声を受けたが、農地指定されている土地の関係で売買ができませんでした。
これは、国の政策であることも十分理解していますが、過疎化が進む中、法律通りに進めることで、住みたい人に売買ができないのであれば、人口は減るばかりで過疎の解消などは到底無理だと思います。
地域活性化が現実になるように、町としても、特区を作るなど何らかの対策をとっていただきたい。

回答　いただいたご意見とお気持ちは全く同じですが法律があることも事実であります。国も見直しを考えていると聞いていますので、当町だけではなく、管内全体で連携をとり要望していきたいと思います。

大狩部生活センター（大狩部地区）
『こども園の入園状況について』
質問　認定こども園が定員を超えそうだという話しを聞きますが、現状はどうなっているのでしょうか。

回答　認定こども園ド・レ・ミの定員は、当初は165名でしたが、現在は170名を超える利用があります。

これは、待機児童を出さない政策ということで、現場にも理解を得ながら対応してきた結果で、保育士を増員しながら、現在、173名まで入園許可をしています。

現在の町内の子どもの数をみると、入園希望のある世帯に対しては、現在の状況の中で対応できると考えています。

朝の会で絵本の読み聞かせを聞く
認定こども園ばなな組の園児

『一次産業における管内の連携について』
意見　各町それぞれで特産品がありますが、冬期間の裏作として、冬レタスの栽培が検討されており、ロット数を確保するためにも、日高全体での日高ブランドとしての動きがあると聞いています。
このように、各町の小さな集まりではなく、日高全体が協力して進めていく取り組みが必要であると考えますがいかがでしょうか。

回答　管内の町長も、これからは日高振興局を中心にオール日高の取り組みを進めていきたいと考えています。

人口確保対策などについても、効果的であると考えるので、この様な取り組みを進めていきたいと思います。

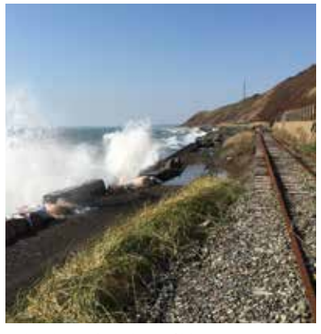
一次産業については、産業団体や関係機関との連携も重要になりますので、十分に連携・協議しながら取り組んでいきたいと思います。

節婦生活館（節婦地区）
『運休する日高線の海岸保全について』
意見　JR日高線が不通となり、かなり時間が経過していますが、海岸保全が十分になされているか心配です。
以前も、大狩部と厚賀の間で砂を海中に捨てたことで、昆布が採れなくなったことがありました。
ぜひ、これまでの経過も含めJRに適正な対応を要望していただきたい。

回答　JR日高線は、平成27年1月災害による運休以来、管内7町が一体となりJR北海道、北海道、国に要望、要請活動を行っていますが、復旧には、離岸堤を含め100億を超える費用がかかると試算されている状況です。

JR北海道は日高線のバス転換を考えているとのことですが、今後とも横の連携をとり対応していきたいと考えています。

また、海岸保全対策についても、JRに強く訴えていきたいと思います。



損壊などの被害が拡大している
ＪＲ日高線横の堤防

新和生活館（新和・里平地区）
『メロディー号の利用について』
意見　メロディー号の利用者から、往復の乗車時間が3時間を超える状況で利用しづらいという声がある。
週4便の内、2便でもルート変更し、所要時間を短縮できないだろうか。

回答　メロディーバスの運行については、利用者から色々な意見をいただき、また、実際に担当者がバスに乗車して利用者へのアンケート調査を実施しておりますが、その中でも同様の意見を受けています。

しかし、バス2台での対応をしなければならないこと、他地域とのバス時間との兼ね合いもあること、また、利用者の動向により路線の見直しも出てくることなどを考えると、すぐにルートを見直すことは難しい状況ですが、ご意見を参考にしながら検討していきたいと思います。

毎日約100名の乗客が利用している
地域コミュニティバスメロディー号

『乗馬クラブの移転について』
質問　高規格道路延伸の関係で、ホロシリ乗馬クラブの施設が新冠温泉横のパークゴルフ場に移転されるという話を聞きましたが、それはもう決定事項ですか?

回答　ホロシリ乗馬クラブの移転については、この町政懇談会で皆さんからそれぞれの立場で意見をいただきたいと思っております。

現在、西泊津のパークゴルフ場の奥地は、日高自動車道の建設工事の際に出る残土処理地で、この工事が終われば広大な土地ができますが、今は工事関係車両の往来が多く、仮にこの状況で乗馬施設を移転してしまうと、乗馬中の事故などの心配もありますし、パークゴルフ場のところにつくる案も考えましたが、パークゴルフ協会や利用者の意見もあると思います。

移転期限の関係もあり、次年度には計画をまとめる必要があるなど急ピッチで進めなければいけない状況ではありますが、色々な考え方や意見があると思うので、まずは、それを聴き取りしているところであり、既に何かが決定しているということはありません。

泊津生活館（西泊津・東泊津自治会）
『避難階段について』
質問　東町から泊津に上がる避難階段がかなり急なので、スロープにした方が良いのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

回答　避難路は、急いで登るということが前提になるので、長い距離にするのではなく、途中に休憩できる場所を確保した避難階段となっています。

また、斜めにすると土砂崩れなどを引き起こす可能性も出てくることから、現在の形になった経緯があります。

また、少し傾斜が緩い避難経路として、神社の裏からも避難階段が設置されていることから、どちらかを使い避難をしてもらえればと思います。

町防災訓練で、避難階段を
使い高台に避難する様子